

3 時代を勝ち抜く産業力強化 プロジェクト

概要

瀬戸内沿岸の企業群を中心とする本県の基幹産業が、厳しさを増す国際競争や脱炭素社会の実現に向けた構造変革の時代を勝ち抜いていけるよう、競争力強化やサプライチェーンの強靱化に必要な基盤整備を着実に推進するとともに、戦略的に企業誘致を進め、本県の産業力を強化する

重点策

- 9 強みを伸ばす産業基盤の整備
- 10 戦略的な企業誘致の推進

(1) 成果指標の状況・県民実感度調査の結果

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標		
	★★★★★ (目標を達成)				
	★★★★ (計画を上回る)	1	企業誘致件数		
	★★★ (ほぼ計画どおり)	1	国道・県道の整備完了延長		
	★★ (計画を下回る)				
	★ (計画から大幅に遅れ)	1	石炭・バイオマス共同輸送の実施回数		
- (数値が未公表)	2	県内企業等に対する技術流出防止意識の浸透率 等			
県民実感度調査 (%)	調査項目		そう思う	どちらでもない	そう思わない
	港湾や幹線道路、工業用水などの産業基盤の整備が進んでいる		49.4	29.6	21.0
	新たな工場・事業所などの進出や、企業の設備の増設などが進んでいる		32.1	33.3	34.6

(2) 主な取組と成果

主な取組と成果

- コンビナートの国際競争力の強化に向け、棧橋新設や航路浚渫等の施設整備を進めるとともに、企業間連携による石炭・バイオマス共同輸送を2回[R4年度]実施するなど、国際バルク戦略港湾施策を着実に推進。
- 迅速かつ円滑な物流を支えるため、幹線道路の整備を着実に推進。
 国道・県道の整備完了延長：5.4 km [R4年度] ⇒目標：50.0 km [R4～R8年度]
- 非常時対応を可能とする二条化・ループ化などによるバックアップ機能の強化を含む**工業用水道施設の強靱化の実施**
- ユーザー企業と連携し、その事業活動の継続にも配慮した**工業用水道事業のBCP(事業継続計画)の策定**
- ICT環境やデジタル化対応産業教育装置を活用した**資格取得講座**を実施し、産業のデジタル化に対応した教育活動による人材育成を推進。

【実施講座の例】

機械加工技能士資格講座：数値制御旋盤やマシニングセンタの活用

電気機器組立技能士資格取得講座：シーケンス制御実習装置の活用

- デジタル化・グリーン化をはじめとした成長企業への戦略的な企業誘致活動を展開する中、近年の企業の好調な半導体関連企業等の堅調な設備投資状況から、**令和4年の企業誘致件数は過去30年間で最多の40件と、大きな成果につながった。**(年間目標：25件)
- 山口県産業団地整備方針を策定し、**光市小周防地区での産業団地整備**に係る調査等を実施。

(3) 課題と今後の展開方向

課題と今後の展開方向

- 県内企業の競争力の強化を図るため、港湾・幹線道路網の整備、産業の血液である工業用水の安定供給体制の強化が必要である。
- ICT環境やデジタル化対応産業教育装置を積極的に活用し、専門分野に関する知識・技術の深化と実践力の育成、将来の地域産業を支える人材の育成に向けた取組を推進していく必要がある。
- DXやGXの進展に伴う関連市場の成長、国の経済政策を通じたサプライチェーンの国内回帰などを背景とした企業の旺盛な投資意欲を本県へ確実に取り込むため、本県の将来における経済成長を担うGX・DX・医療に関連する分野に対し新たに創設した最大50億円となる補助制度を活用した精力的な誘致活動に取り組む必要がある。
- 産学公による「やまぐち半導体・蓄電池産業ネットワーク協議会」において、企業誘致等の加速化や、研究開発・事業化の促進、販路拡大等による取引機会の創出等に取り組む必要がある。
- 企業の投資マインドを逃すことのないように、第2期事業に向けた調査等を実施するなど、引き続き産業団地整備に向けた調整が必要である。

(参考) 令和5年度の主な新規・拡充取組

拡 企業立地サポート事業

県内で工場を新設する事業者等に対して補助することにより、企業立地を促進

新 薬工連携医薬品産業強化事業

県内医薬品産業の強化に向け、山口東京理科大学の薬工連携によるデータサイエンス等を活用した人材育成等を実施するとともに、県内医薬品製造所の医薬品生産支援を実施

新 技術情報流出防止対策推進事業

県内企業等による技術情報流出防止に向けた取組を支援